

第29期（平成30年度）の事業計画書
（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

1. 自転車に関する調査分析

毎年「調査分析テーマ」を決め、調査分析結果の発表会を館内で開催します。

今年度は、慶応義塾大学の駒形先生に「大阪地域の自転車産業の歴史・進化」について、そして自転車史研究家の小林先生に「自転車の歴史」について調査分析を依頼します。

2. 自転車に関する普及啓発

(1) より多くの市民に、自転車に乗ることで楽しさを実感し、自転車の有効性を理解・認知してもらうことによって自転車志向を高めていきます。

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ① マウンテンバイクツーリング | 年間4回実施 |
| ② ロードバイクスクール（ロードバイクの初心者スクール） | 年間4回実施 |
| ③ 自転車ライフ体験セミナー（スポーツバイク取り扱いセミナー） | 年間4回実施 |
| ④ 自転車散歩：10km程度を楽しみながら走行 | 毎月1回実施 |
| ⑤ 健康サイクリング：20-30kmを健康のために走行 | 毎月1回実施 |

(2) 堺市の「堺市環境共生まちづくり企画運営委員会」の副委員長に自転車博物館サイクルセンター事務局長 長谷部雅幸氏が就任し、引き続き活動していきます。また、その下部組織の「堺自転車のまちづくり・市民の会」に参加して、自転車利用マナー向上活動並びに自転車のまちづくりに協力します。

3. 自転車博物館サイクルセンターの運営

(1) クラシック自転車等の収集・収蔵・展示

常設展示として、自転車発展の歴史を展示します。

(2) 特別展「フランス自転車」展を4月1日より1年間行います。

(3) 関西サイクル・スポーツセンター及び各地の自転車展示館等の展示に協力
関西サイクル・スポーツセンター内の啓発展示室に自転車（オーディナリー他）5台を継続して貸出します。

(4) 当館の収蔵する自転車、部品、用品、資料の整理とデータ蓄積を引き続き行います。また、図録の電子化も行っていきます。

(5) 各種講演会・講習会で自転車の有効活用等を発信します。

(6) 第27回夏休みこども絵画コンクールの実施

絵を描くことによって自転車のしくみを理解すると同時に、自転車の社会的役割を思考する機会を提供するために、次世代を担う子ども達の応募継続に取り組みます。昨年の応募作品は、42, 586点でした。

(7) 第11回こんな自転車欲しかったんコンテストの実施

平成17年から3年間協力したキャリア教育プロジェクト「こんな自転車欲しかったん」を受継いで、博物館主催の自転車企画コンテストを平成20年に開始し、今年も引き続き実施します。昨年の応募作品数は、2, 067点でした。

(8) 手作りおもちゃ教室（毎月1回）

博物館を会場として開催することで、地域住民の方々に少しでも自転車への理解や関心を深めていただくことを目的に行います。

- (9) 文化庁の呼びかけで「関西文化の日」として文化力による関西復興の呼びかけがあり、11月に2日間無料開館を実施します。

4. 自転車ひろばの運営

- (1) クラシック自転車レプリカ体験試乗

一般の方は毎月2・4日曜日と祝日に実施します。

- (2) 自転車乗り方教室

毎週水・土曜日と毎月1・3・5日曜日に実施します。

- (3) 堺市内の支援学校を対象とした、自転車乗り方教室を実施

百舌鳥支援学校と上神谷支援学校の校庭で乗り方教室を実施します。

- (4) 子ども自転車安全教室と大仙公園サイクリング

自転車に乗れる5歳から10歳までの子どもを対象として、堺警察署と合同で交通安全講習と実技を行い、最後に全員で大仙公園内をサイクリングします。

- (5) 堺市内の小学校を対象とした、自転車安全教育活動の支援

自転車乗り方教室で使用している自転車を、小学校に貸出し交通安全教育に活用していただきます。